

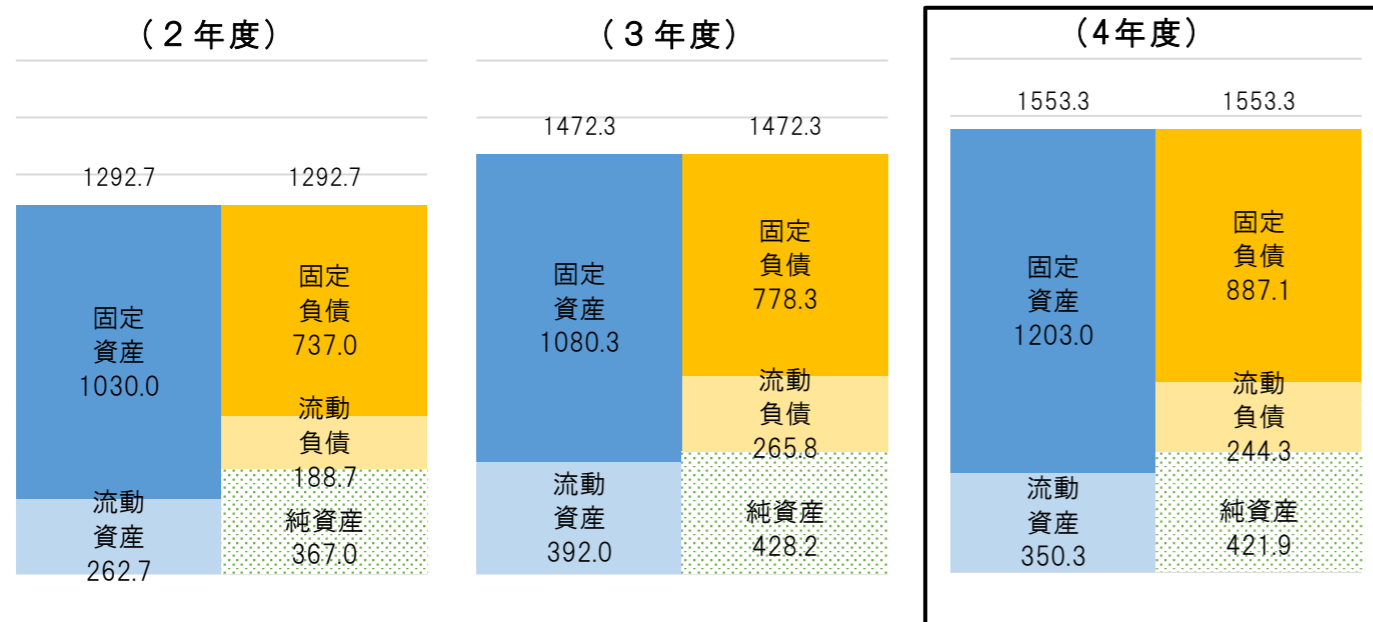
# 地方独立行政法人大阪府立病院機構 令和4年度決算のポイント（損益ベース）

## I 財政状態（貸借対照表より）

- 1 資産合計額は1,553.3億円（前年度比+81.0億円）  
⇒ うち土地、建物、器械備品等の有形固定資産は1,070.0億円（前年度比+77.1億円）
- 2 負債合計額は1,131.4億円（前年度比+87.2億円）  
⇒ うち大阪府からの長期借入金残高は643.0億円（前年度比+116.7億円）

### ■ 貸借対照表の推移

（億円）



### ■ 主な項目の増減(前年比) (億円)

資産の部	負債の部
土地 380.3 (+0.0)	資産見返負債 40.1 (▲5.8)
建物 554.5 (+120.1)	長期借入金 597.9 (+108.1)
器械備品 111.9 (+0.8)	リース債務 39.4 (+2.1)
建設仮勘定 2.2 (▲45.9)	一年以内返済長期借入金 45.0(+8.6)
現金及び預金 87.2 (▲95.4)	医業未払金 49.3 (+1.7)
医業未収金 231.1 (+61.1)	未払金 96.3 (▲26.4)

### ■ 長期借入金残高推移 (億円)

	2年度	3年度	4年度	増減
長期借入金	499.9	526.2	643.0	116.7
移行前分	10.3	6.0	2.3	▲3.7

### ■ 純資産の内訳 (億円)

	2年度	3年度	4年度	増減
資本金	213.0	213.0	213.0	なし
資本剰余金	184.2	184.2	184.2	なし
利益剰余金	▲30.2	31.0	24.7	▲6.2
計	367.0	428.2	421.9	▲6.2

## II 経営成績（損益計算書より）

- 1 本業の売上高を示す『医業収益』は846.7億円（前年度比+6.2億円）
- 2 本業の儲けを示す『営業利益』は38.3億円（前年度比▲62.8億円）
- 3 営業損益に利息の支払い等を含めた『経常損失』は3.1億円（前年度比▲65.0億円）
- 4 最終的な儲けを示す『当期総損失』は6.2億円（前年度比▲67.3億円）

### ■ 主な項目の推移

（億円）

	2年度	3年度	4年度	増減
医業収益	805.5	840.5	846.7	6.2
運営費負担金収益	81.1	80.7	70.4	▲10.3
補助金等収益	92.2	114.5	86.2	▲28.3
営業収益	984.3	1043.6	1010.7	▲32.9
給与費	422.2	430.1	438.2	8.1
材料費	247.6	260.0	269.1	9.1
減価償却費	86.4	85.4	88.5	3.1
経費	130.7	149.7	158.9	9.2
医業費用	895.7	934.4	963.5	29.1
営業費用	906.3	942.4	972.4	30.0
営業損益	78.1	101.1	38.3	▲62.8
営業外収益	7.6	8.0	8.6	0.6
財務費用[利息]	2.5	2.2	2.2	0.0
控除対象外消費税	38.9	40.2	43.1	2.9
営業外費用	45.9	47.2	50.1	2.9
経常損益	39.7	61.9	▲3.1	▲65.0
臨時利益	0.0	0.0	6.7	6.7
臨時損失	1.5	0.7	9.8	9.1
当期総損益	38.2	61.1	▲6.2	▲67.3

### ■ 収益面

- 医業収益**  
 > コロナ患者受入れや高額薬剤等による診療単価の向上に伴い増収。  
**補助金等収益**  
 > 新型コロナ患者受入れに伴う補助金等収益の減少。(▲28.3億円)

### ■ 費用面

- 給与費(医業費用)**  
 > 職員数の増加や看護職員処遇改善手当等の増加  
**材料費(医業費用)**  
 > 高額薬剤等の増加  
**減価償却費(医業費用)**  
 > はびきの医療センター旧病棟耐用年数見直しに伴う増加  
**経費(医業費用)**  
 > 光熱費、委託料等の増加

### ■ 経営指標(主なもの) (%)

	2	3	4
給与費比率	52.9	51.6	52.2
材料費比率	30.7	30.9	31.8
経常収支比率	104.2	106.3	99.7
医業収支比率	88.9	89.2	87.1

### ■ 概況

- > 営業損益では、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響による診療制限の影響があったものの、収益面はコロナ患者受入れや高額薬剤等による診療単価の向上に伴い、入院及び外来ともに増収、費用面では職員数の増加や看護職員処遇改善手当等による給与費の増加、高額薬剤の購入による材料費や光熱費や委託料等の経費の増加、大阪はびきの医療センターの旧病棟の耐用年数見直しによる減価償却費増加額を7.3億円計上したことにより、営業損益は悪化。  
 > 利息や消費税の支払い等の営業外費用を加味した経常損益においては、控除対象外消費税等が増加し、3.1億円の損失を計上した。(前年度比65.0億円減)

## III キャッシュフロー

（億円）

	期首残高	業務活動	投資活動	財務活動	期末残高	資金増加(▲減少)
2年度	20.9	107.5	▲31.0	▲41.6	55.8	35.0
3年度	55.8	173.5	▲47.7	0.9	182.6	126.7
4年度	182.6	10.6	▲198.8	92.9	87.2	▲95.4

## IV 行政コスト計算書

（億円）

	4年度
行政コスト	103.2
[参考] 運営費負担金収益	70.4

- > 法人の業務運営に関し、最終的に住民等の負担となるすべてのコストを集約し、表示したもの。